

2016年1月24日（日曜日）

神戸元町館「黒の小部屋」

『ゴジラ・ウルトラマン 怪獣平和学入門～怪獣映画にみる戦争～』

永田喜嗣（ながたよしつぐ）

1. 映画とは何か？

映画に隠されたメッセージを読み解く

『スター・ウォーズ』と『アナと雪の女王』のメッセージ

2. 怪獣ナショナリズムと怪獣グローバリズム

国際化する Kaiju 文化

ナショナリズムと結びつきやすい怪獣という存在

3. 怪獣映画と戦争映画

何年かぶりかで『ゴジラ』を再見しいちばん驚いたことはこの映画が“怪獣映画”である以上に“戦争映画”であることだった。

（川本三郎『「ゴジラ」はなぜ「暗い」のか』1983年）

ゴジラとウルトラマンを結ぶもの＝円谷英二特技監督

円谷英二の戦時下の特撮映画

『海軍爆撃隊』（1940年）

『ハワイ・マレー沖海戦』（1942年）

『加藤隼戦闘隊』（1943年）

『雷撃隊出動』（1944年）

戦後の特撮大作映画の流れ（東宝）

戦争映画と怪獣映画

戦争映画は過去を描き、怪獣映画は現在を描く

4. ゴジラとは何か？

★ゴジラ戦死者説

川本三郎の『「ゴジラ」はなぜ「暗い」のか』から

そしてこのとき『ゴジラ』とは単なる“戦災映画”“戦禍映画”である以上に、第二次大戦で死んでいった死者、とりわけ海で死んでいった兵士たちへの“鎮魂歌”ではないか思いあたるのだ。“海から表れ、そして海に消えていった”ゴジラは、戦没兵士たちの象徴ではないのか。そして東京都民があれほどゴジラを恐怖したのは単にゴジラが怪獣であるからという以上に、ゴジラが「海からよみがえってきた」死者の亡霊だったからではないのか。

(『新劇 第30巻第11号』白水社. 1983年. P28)

伊福部昭のコメント

ゴジラは海で死んだ英霊のような存在ではないか。そんなことも考えるような時代だったのです。徴兵検査ではギリギリ合格の第二乙種だった僕も、召集令状が今日来るか明日来るかという不安の中で何年も過ごしたものです。ところが戦争に負けると、民衆はアメリカから持ち込まれた自由を謳歌するのに懸命でした。あのころ熱海や箱根に傷病兵の療養所があり、その横を人々が楽しそうに歩いていく。それを見て、われわれは苦しんでいるのに、という気持ちもあったでしょう。ゴジラが国会議事堂などをつぶすのは、その象徴のような気がします。

(「戦後史開封」取材班『戦後史開封』産経新聞社. 1995年. P173)

★ゴジラ核被害者説

宝田明のコメント

静かな海底で眠っていた動物なんだけれども、彼もまた被爆した悲しい運命にある。それがたまたま日本に上陸して破壊をするんですけど、私は単なるデストロイヤー、破壊者だけではなくて、彼も被害者なんだと。悲しい運命を持った被爆者なんだと思うんです。

(2015年12月の宝田明へのインタビューから)

5. 怪獣映画の国防史 1954年～1984年

日本最初の怪獣映画 1954年の『ゴジラ』

1954年という時代

3月1日：ビキニの水爆実験

3月8日：日本がアメリカとMSA協定（相互防衛援助協定）を結ぶ

6月：防衛庁設置法と自衛隊法が交付

7月1日：自衛隊発足

11月3日：映画『ゴジラ』公開

自衛隊にとっての初の実戦は対ゴジラ戦である。

自衛隊法

(自衛隊の任務)

第三条

自衛隊は、我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つため、直接侵略及び間接侵略に対し我が国を防衛することを主たる任務とし、必要に応じ、公共の秩序の維持に当たるものとする。

(命令による治安出動)

第七十六条

内閣総理大臣は、我が国に対する外部からの武力攻撃（以下「武力攻撃」という。）が発生した事態又は武力攻撃が発生する明白な危険が切迫していると認められるに至った事態に際して、我が国を防衛するため必要があると認める場合には、自衛隊の全部又は一部の出動を命ずることができる。**この場合においては、武力攻撃事態等における我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全の確保に関する法律（平成十五年法律第七十九号）第九条の定めるところにより、国会の承認を得なければならない。**

(防衛出動)

第七十八条

内閣総理大臣は、間接侵略その他の緊急事態に際して、**一般の警察力をもつては、治安を維持することができないと認められる場合には、自衛隊の全部又は一部の出動を命ずることができる。**

ポイント：対怪獣防衛は法に従って軍隊を運用される。

『ゴジラ』（1954年）と『ゴジラの逆襲』（1955年）の場合

★文民統制と軍隊の暴走

『空の大怪獣ラドン』（1956年）と『地球防衛軍』（1957年）

★軍隊投入までのプロセス

『大怪獣バラン』（1958年）の場合

★正式名称「自衛隊」としての登場

『モスラ』(1961年)と『モスラ対ゴジラ』(1964年)の場合

★新安保条約に揺れる怪獣映画

1960年は新安保条約「日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約」が日米合意のもとに調印された年。

5月には国会で強行採決、6月15日には国会前で13万人の反対デモが行われ、混乱のうちに死傷者まで出た。

条約は6月19日に発効となり、新安保条約は国民の多くの反発を巻き起こしたまま有効となった。

新安保条約 第五条

各締約国は、日本国の施政の下にある領域における、いずれか一方に対する武力攻撃が、自国の平和及び安全を危うくするものであることを認め、自国の憲法上の規定及び手続に従って共通の危険に対処するように行動することを宣言する。

小説『発光妖精とモスラ』から

最近、この国ではロリシカ国と軍事条約が結ばれ、この条約問題をめぐって国会の内外も多大の紛乱がまきおこされ、条約は国民の十分な納得のいかぬうちに締結されてしまったのだった。

(中村真一郎、福永武彦、堀田善衛『発光妖精とモスラ』筑摩書房. 1994年. P47)

『モスラ』の原作『発光妖精とモスラ』は反安保、反米的作品。故に大東亜共栄権思想に無意識に接近するという問題点を持つ。

日米の日本の領土内での共同防衛

『モスラ』: ロリシカ国による原子熱線砲の提供

『モスラ対ゴジラ』: 対ゴジラ撃滅作戦のために自衛隊と米軍が共働し、アメリカ艦隊が出動。

『モスラ対ゴジラ』アメリカ公開版から

情報将校「名古屋の指揮官より緊急連絡です！」

本部長「よし、では全部隊をこの地帯に結集させて前線へ兵力を集中させねばならん。アメリカ軍は艦隊を派遣しなくてはならないだろう。」

『モスラ対ゴジラ』ドイツ公開版から

情報将校「名古屋の司令官より緊急情報です！」

本部長 「諸君、我々は全軍を結集させてこの前線を維持しなくてはならん。我々はアメリカ艦隊の協力を必要とするだろう。」

『三大怪獣地球最大の決戦』（1964年）以降

★怪獣と自衛隊の共同防衛

『地球攻撃命令ゴジラ対ガイガン』（1972年）から『メカゴジラの逆襲』（1975年）

★怪獣と自衛隊の役割の交代

『ゴジラ』（1984年）

★米ソ対立の冷戦下のゴジラ映画

三田村首相の米ソ大使への回答

「わが国には非核三原則というものがあります。核は作らず、持たず、持ち込ませず。今度の場合も私はこれを遵守したいと考えます。（中略）こういう状況だからこそ私はあえてこだわるのです。安全な核兵器などありえません。そして一度使われてしまえば、抑止力としての均衡が破れ世界の破滅につながります。それが核というものです。」

『ゴジラ VS ビオランテ』（1989年）

★平成ゴジラシリーズ＝ゴジラ映画が暴走する起点

自衛隊の対人戦闘と反米、反アラブ主義

大河内財団総帥の見解

「原爆とゴジラにひどい目に遭わされた日本人がゴジラ細胞から核を超える兵器を作っても、決して悪いとは思わんがね。」

『ゴジラ VS キングギドラ』（1991年）

★反共生的日本ナショナリズム

仮想敵は宇宙人や怪獣ではなくアメリカ人とロシア人

日本企業が核ミサイルを装備した原子力潜水艦を保有しているという奇怪な設定

『ゴジラ・モスラ・キングギドラ・大怪獣総攻撃』（2001年）

★不戦思想への回帰

立花准将の防衛軍での講義から

昭和29年、今から50年前。日本は恐るべき災害に見舞われた。ゴジラである。首都東京は戦場と化し、先人たちは多大な犠牲を払い総力をもってゴジラを駆逐した。これは第2次大戦後、平和憲法のもとに創設された防衛軍が経験した唯一の実戦である。以来、我が国は内外に誇る平和を保っているが、すべての脅威が去ったわけではない。

伊佐山嘉利と立花由理の会話

伊佐山：ゴジラには太平洋戦争で命を散らした数知れぬ人間たちの魂が宿っているのだ。

由里：でも、ゴジラが戦争で犠牲になった人の化身なら、どうして日本を滅ぼそうとするんですか？

伊佐山：人々がすっかり忘れてしまったからだ。過去の歴史に消えていった多くの人たちの叫びを、その無念を。

立花と由理の会話

立花：太平洋に眠る英霊たちは日本を守るために戦って散った。それがなぜ、ゴジラになって日本を攻める。

由里：犠牲になったアジアの人々とアメリカ人と原爆で死んだ日本人とそれがこう・・・一つになったんじゃない？

立花准将と艦長の会話

艦長：この横浜の宝石のように美しい夜景を戦場にしてしまうとは。

立花：実戦経験なきことこそ最大の名誉でした。

艦長：あなたもそう思っていましたか。

立花：防人の思いはいにしえより皆同じです。

6. ゴジラの正体とは何か？

過去の戦争の記憶と現在と未来の戦争への不安

電車の車内

女A いやね、原子マグロだ、放射能雨だ。そのうえ、今度はゴジラと来たわ。

もし東京湾へでも上がりこんで来たら一体どうなるの？

男 A まず、真っ先に君なんか狙われる口だね。

女 A いやなこった、せっかく長崎の原爆から命拾いしてきた大切な体なんだから。

男 B そろそろ疎開先でも探すとするかな。

女 A 私にもどこか探しといてよ。

男 A あーあ、また疎開か、全くいやだな。

(映画『ゴジラ』のセリフから)

街のどこか

男 D 「あーあ、どっち道、われわれ日本人は、ゆるやかな死の宣告を待っているようなものさ……」

女 B 「のみましよう、最後の一瞬よ。好きなことをしなきゃ損だわ。のんでのんでよっぱらって、笑いながら死を待ちましよう……」

(香山滋『怪獣ゴジラ』大和書房、1983年、p72)

1. 海から上陸してくるゴジラ……本土決戦への不安の記憶
2. 米ソ対立の中にある日本の戦争への危機感
3. 戦争で同胞や対戦国民を死に追いやった責任
4. 被爆者の無念

ゴジラは何故やって来たのか？何故撃退されたのか？

1954年に自衛隊が発足し、1955年より55年体制が確立

7. ゴジラ・東宝怪獣映画の平和論

『世界大戦争』(1961年)から

イソップ童話『にひきのやぎ』

2匹のヤギが一本橋で会いました。

「ボクが渡るんだ 君 そこをどいてくれよ」って1匹のヤギが言いました。

「ううん イヤだよ 君こそどいてくれよ」

2匹のヤギは頭と頭で、ぐいぐい押し合いました。

あっ、危ない。どちらも落ちそうです。

ところが、そのうちに1匹のヤギが言いました。

「ボクがしゃがむから、君はボクの上を跳び越えて行くといいよ。」

「うん、ありがとう。こうすればあぶくないね。」
2匹のヤギは仲よく橋を渡っていきました。

8. ウルトラマンと戦争

★戦争と正義を問答したウルトラマン・シリーズ

戦争における加害と被害、和解と共生を探る一面＝「ウルトラスピリッツ」

★過去の戦争責任を問う

『毒ガス怪獣出現』（『帰ってきたウルトラマン』1971年）

戦争責任は当事者の次世代個人が担うものにあらず

『怪獣使いと少年』（『帰ってきたウルトラマン』）

伊吹隊長のセリフ

「日本人は美しい花を造る手を持ちながら、一旦その手に刃を握るとどんな残忍極まりない行為をすることか。」

『怪獣使いの遺産』（『ウルトラマンメビウス』2006年）

サコミズ隊長の言葉

「三十数年前の出来事は二度と起こってはならない悲劇です。無知と恐れが生み出した不幸な事件と言えるでしょう。我々は自らの過ちを知り改めなければなりません。ですが、今危機にさらされている人々を守ることがGUYSの使命であることも変わりありません。」

★バルタン星人との戦争～戦いから和解への道のり

『侵略者を撃て』（『ウルトラマン』1966年）におけるバルタン星人との戦い

難民としてのバルタン星人

『科特隊宇宙へ』（『ウルトラマン』）におけるバルタン星人の復讐

報復の連鎖

『ウルトラマンコスモス THE FIRST CONTACT』(2001年)におけるバルタン星人との関係

ムサシの学校における先生の言葉

「”ファミリー・オブ・マン”って言葉、みんな聞いたことがあるかな？肌の色の違いや宗教、風俗、習慣の違いなどを超えて、地球上に住む人間たちがみんな家族のように暮らそうって。そういう考え方なんだけど、でも実際はまだまだ地球上には、戦争や暴動が尽きないんだよね。”ファミリー・オブ・スペース”全宇宙は家族。」

チャイルドバルタンの言葉

「ムサシはバルタン星人と住んでもいいと言った。ウルトラマンを呼んで、人間の代わりに戦わせるんじゃないと言った。バルタンの子供たちも地球占領なんて考えていない。ウルトラマンを呼んで大人たちを止めて。君の力で。そう言ってる。」

『ようこそ地球へ・前編バルタン星の科学』『ようこそ地球へ・後編さらばバルタン星人』(『ウルトラマンマックス』2005年)
バルタン星人と地球人との戦争の最終章

★ウルトラマン・シリーズが探る共生への理想

あなたは誰なのか？という問いかけ

『遙かなる友人』(『ウルトラマンマックス』2005年)

キーフとカケルの会話

キーフ「地球の人たちは異星人を敵だと思っているんだね。それで、カケルは僕に人間の姿でいろっと言ったんだね。」

カケル「地球じゃ異星人は人間を傷つけるもの。侵略しにくるものだと思われている。俺もキーフに会うまでそう思ってた。仕方ないんだ。今までずっとそうだったから。」

DUSHの隊員ショーン・ホワイトの言葉

ショーン「キーフ・・・彼の名前はキーフです。『あのエイリアン』じゃあない。」

キーフのカケルへの言葉

「僕のあとにも、この美しい惑星を好きになって心から人間と友達になりたいと思う異星人がきっと現れる。でも、彼らは僕のように人間の姿になれるとは限らない。彼らは異星人の姿をしているせいで侵略者だと思われてしまう。そんなとき、もし、過去にひとりでも人間の信頼を得て、本当の友達になれる異星人がいたら、少しは違うと思うんだ。僕はね、カケル、その最初の一人になろうと決めたんだ。」

『怪獣使いと少年』（『帰ってきたウルトラマン』）

パン屋のお姉さんヨウコと良少年の会話

ヨウコ「（良少年を追って）ボク！待って（パンを持って追いかける）はい（とパンを差し出す）」

良「同情なんてされたくないな。」

ヨウコ「同情なんてしてないわ。売ってあげるだけよ。だって、うちパン屋だもん。はい、120円。（パンを差し出す）」

良「ありがとう。」

二人は笑顔になる。

『怪獣使いの遺産』（『ウルトラマンメビウス』）

メイツ星人ビオの言葉

「見たまえメビウス。地球人は自分たちと異なるものをすぐに敵だと考える。」

サコミズ隊長の言葉

「だから勇気を持って話し合うことが大切なんだ。話し合ってお互いを知ろうとしなければ・・・。」

園長先生のメイツ星人ビオへの言葉

「違う星の人間同士でも、心を通わせることができるのだと教えられたんです。いつの頃からか、ほかの人にもその言葉を伝えたいと思うようになって、今では保育園の園長ですわ。あなたのお父様が地球人の少年に残した愛情という遺産は私の園の子供たちにしっかり受け継いでいます。この子たちが大きくなる頃、この星は今よりやさしくなっているでしょう。」

まとめ

ゴジラとウルトラマンが見つめた戦争と平和

過去の戦争と、現在の戦争にどう向き合うか。
共生社会、コスモリアンの未来へ

コスモリアン：

心に国境を持たない人。相手の立場や価値観を認める人。

『怪獣使いの遺産』の園長先生の願い＝コスモリアン社会の夢

『ゴジラ』出演俳優の宝田明の『私の願い』

『私の願い』

作詞：宝田明

人は誰も 幸せを求めて 生きている
愛と優しさ 温もりを 探し続けている
それなのに どうして人は 戦うのだ
それなのに どうして人は殺し合うのだ
相手の幸せを 考えれば 争いは起きはしない
相手の立場を 考えれば 争いは起きはしない

戦争を起こすのは 一部の人が 多くの犠牲をもたらす
命の尊さを踏みつける 心なき人たち
戦争ともなれば人は 憎しみが増してゆく
それをぬぐい去ることは もう出来ない
それを止めるのは私たち一人一人の力
それを止めるのは私たちの果たすべき使命

守り続けよう 我が子のために
守り続けよう 未来のために
守り続けよう みんなの力で
守り続けよう 今の平和を